

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部総務課	■担当係	総務係
■評価事業名称	全国大会等出場補助金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	400100 - 054	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	01 学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上	
	■施策	03 学校・家庭・地域が連携した教育の充実	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	目的: 生徒のスポーツ及び芸術文化の向上に対する意識の高揚を図り、保護者の経済的負担の軽減に資するため。事業概要: 市内の高校が全国規模の大会に参加した場合の出場経費に対し、北上市教育委員会補助金交付基準により一定額を補助するもの。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 29 年度事業計画	平成 29 年度事業量実績
01	全国大会出場補助金	市内高校生	全国大会等出場補助金 ・300千円 ・200千円 ・100千円	・7人制ラグビーフットボール大会出場補助金 77千円 (黒沢尻工業高等学校) ・全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演出場補助金 300千円(北上翔南高等学校) ・全国高等学校弓道選抜大会出場補助金 20千円(黒沢尻工業高等学校) ・女子サッカー選手権大会出場補助金 300千円 (専修大学北上高等学校) ・全国高等学校ボクシング選抜大会出場補助金 44千円(黒沢尻工業高等学校)
02	全国高等学校総合文化祭出場補助金	市内高校生	第41回全国高等学校総合文化祭出場補助金 2,400千円 ・北上翔南高等学校(郷土芸能部門) 800千円 ・北上翔南高等学校(器楽・管弦楽部門) 800千円 ・黒沢尻北高等学校(吹奏楽部門) 800千円	第42回全国高等学校総合文化祭出場補助金 199千円 ・北上翔南高等学校(郷土芸能部門) 165千円 ・北上翔南高等学校(器楽・管弦楽部門) 24千円 ・黒沢尻工業高等学校(新聞部門) 10千円 北上翔南高等学校(郷土芸能部門優秀校東京公演) 300千円

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

03	全国高等学校ラグビーフットボール大会出場補助金	市内高校生	未定	第97回全国高等学校ラグビーフットボール大会 黒沢尻工業高等学校(選手25名) 1,871千円 第4回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会 黒沢尻工業高等学校(選手12名) 77千円
04	マーチングバンド・バトントワリング全国大会出場費補助金	市内高校生	未定	第45回マーチングバンド全国大会出場補助金 専修大学北上高等学校 800千円
05	全国高等学校軟式野球選手権大会出場補助金	市内高校生		第62回全国高等学校軟式野球選手権大会出場補助金 専修大学北上高等学校600千円
06	全国高等学校女子サッカー選手権大会			第26回全国高等学校女子サッカー選手権大会出場補助金 専修大学北上高等学校 300千円
07	全国高等学校選抜大会			第29回全国高等学校ボクシング選抜大会 黒沢尻工業高等学校(選手1名) 44千円、第36回全国高等学校弓道選抜大会 黒沢尻工業高等学校(選手1名) 20千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	3,827	4,655	4,180	4,233	
人件費	2,008	2,085	1,502	992	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,835	6,740	5,682	5,225	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	補助金交付件数	9件	10件	9件	11件	
	全国大会出場参加人数(登録選手)	219人	251人	247人	317人	
	事業費に対する補助金の割合	14.7%	13.3%	8.9%	7.6%	
	補助金交付基準に基づく補助	3,827,000円	4,655,000円	4,180,000円	4,211,000円(上記金額間違い)	補助金交付額

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

総事業費に対する補助金の割合が年々減少しているが、毎年の補助金額は同じレベルで推移していることや補助基準の見直しを行ったことにより、申請者からの要望に答えている。

問題点・課題等

特になし。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

市内高校の全国大会への出場機会が増えており、行政として継続して実施する必要がある。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了